

茨城県におけるエイズ患者等の報告状況について〔速報値〕

(平成16年1月1日から16年3月31日まで)

国のエイズ動向委員会（開催月は1, 4, 7, 10月）が全国のエイズ患者等の発生状況について記者発表を行いましたので、県内の報告状況についてお知らせ致します。

1. 平成16年1月1日より平成16年3月31日までの3ヶ月間に、県内の保健所を經由して報告された新規HIV感染者報告数は2名（前回2名）、新規AIDS患者報告数は3名（前回6名）であった。
2. 感染経路別に見ると、新規報告のHIV感染者では、感染経路が異性間性的接触によるものが2名（日本人男性）であった。AIDS患者については、異性間性的接触によるものが1名（日本人男性）、海外での輸血によるものが1名（日本人男性）、不明によるものが1名（日本人男性）であった。
3. 年齢別では、感染者については、40代・50代が1名ずつであった。患者については、50代が3名であった。
4. 今回はすべて日本人男性の報告であった。
5. 平成16年度第1四半期（H16.1.1～3.31）の保健所でのHIV抗体検査件数は252件（前回229件）相談件数は550件（前回505件）である。
6. 今回の報告では、患者となって報告される件数が3件と多かった。そのため、感染予防だけでなく、早期発見の促進を図る必要がある。

茨城県保健福祉部保健予防課 報告